

きつと
また
来なくなる

その風景は、人の手で守られています。

はままつの棚田

～知って守ろう、棚田のミライ～



しずおか棚田・里地くらぶ

※本パネルは、静岡県経済産業部農地局農地保全課の承諾を得た上で、同団体が運営するページ「しずおか棚田・里地くらぶ」を関東農政局農村振興部地域整備課が消費者の部屋の展示用に再編したものです。

写真：久留女木の棚田

棚田ってなに？

棚田には、たくさんの働きがあります。

棚田（たなだ）は山の斜面や、谷間の傾斜地に階段状に作られた水田のことです。
日本の美しい里山を象徴する風景であるだけでなく、いろいろな機能をもつ、大切な財産なのです。

棚田のもつ、たくさんの働き

おいしいお米を作ります

昼夜の温度差が大きく、水源に近くキレイな水などの自然環境が、上質なお米を育みます。

地下水を貯えます

棚田は1日に10a当り24tもの水を地下に浸透させ、地下水をつくります。

緑のダムになります

自然のダムとして大雨などを貯めたり、整地することで地すべりを防ぎます。



キレイな水をつくります

土の成分や田んぼの微生物の力で、ゴミや汚れなどがろ過されます。

美しい景観で癒します

美しい棚田の風景は日本の原風景として、訪れた人々に安らぎや感動を与えます。

多様な動植物を育みます

棚田には極めて複雑な生態系が見られます。

耕作放棄地だと・・・！

荒れてしまった棚田や里地は、雨水を地中にためこむ機能が弱まります。そのため、一度長雨や豪雨が起これば、水が下流地域へ一気に流れ落ち、鉄砲水や地すべりなどの大きな災害を招くことがあります。



棚田でみられる生き物



オニヤンマ



サワガニ



シュレーゲルアオガエル



アカハライモリ



ニホンアカガエル



ホタル

何世代にわたって築き上げた棚田も、お米を育てなくなると荒れてしまい、せっかくの機能が果たせません。

江戸時代以前から昭和30~40年代頃まで盛んに耕作が行われていた棚田も、過疎化や農業者の高齢化など時代の変化とともに耕作面積が減ってしまいました。

現在は、美しく品格のある地域づくりのために、地域の有志や、都市に住むみなさん、企業などが力を出しあって、棚田の保全に努めています。



耕作放棄地



耕作されている棚田



棚田の1年



棚田は、1つ1つが小さく、機械で作業することができません。
そのため、棚田でのお米づくりには、より作業を手伝ってくださるみなさんの力が必要です。
地元の方が教えてくださるので、初心者の方でも大丈夫。
自然を感じながら、棚田でのお米作りを体験してみましょう！

棚田にはこんな作業があります

■あぜ切り (3~4月頃)

クワを使ってあぜの形を整える作業です。



■あぜ塗り (3~4月頃)

手やクワを使って、あぜから水が漏れないように土を塗り付けます。



■代かき (5月頃)

苗を植えやすくするため、田んぼのデコボコをならします。



■田植え (5月下旬~6月上旬)

数本ずつ苗を植えていきましょう。
春に、お米で「種まき」する所もあります。



■草刈り (7~9月頃)

田んぼの中や、あぜに生えている雑草をとります。



■稲刈り (10月頃)

カマを使った昔ながらのやり方で稲を刈ってみましょう。



■ハザがけ (10月頃)

刈り取った稲は、ハザにかけて天日干しします。



■脱穀・精米 (10月下旬~11月頃)

モミを外し、モミガラを取って、お米にします。



さあ、棚田へ行こう！

～保全活動に参加してみよう～

楽しく、安全に作業するために、服装や持ち物、マナーを守りましょう。

棚田にはこんな服装で行こう！



大人のみなさんへ

- 作業の際には、地元の人々の指示をよく聞きましょう。
- お子さまから目を離さないようにしてください。
- 暑い日には、熱中症に注意しましょう。適度な休憩と水分補給を！

こどものみなさんへ

- 田んぼの生き物をつかまえたら、もとの場所に逃がして帰ろう。
- 生き物教室を行う所もあるよ！



棚田で写真を撮るときのマナー

- 地元の人たちにあいさつしよう。
- あぜや水路は棚田の生命線です。許可を取ってから立ち入り、決して踏み崩さないようにしよう。
- 農作業の邪魔にならないようにしよう。
- 農機具を動かしたり、農家の人にポーズを強要するようなことはやめよう。

サポーターになろう！

「みんなで一緒に棚田を守ろう！」
～美しい農村風景を次世代に～



しずおか
棚田・里地
くらぶ

多くの機能を持つ棚田や里地を守るため、保全活動を行うボランティア「しずおか棚田・里地くらぶ」の会員を募集しています。

会員は、農山村で、地域の方のお手伝いとして草刈りや田植えなどの様々な農作業を行うことができます。そのほか、イベントへの参加、会員同士や地元の方々との交流も楽しみのひとつです。

皆さんも美しいふるさとを未来に残す活動に参加してみませんか？

■「しずおか棚田・里地くらぶ」会員

▶ 入会金・年会費は無料！

※各イベントの参加費がかかる場合がありますので、都度ご確認ください。

▶ 活動の様子や棚田の魅力は、ニュースレター、フェイスブックページ、YouTube動画でご覧になれます！

▶ 他に、棚田を農業体験や環境教育の場として活用する「学校会員制度」を設けています。棚田を農作業体験や生き物調査等の活動に取り組む学校会員に対して、活動場所の紹介や農具等の費用等の支援を行います。詳しくは電話又はメールでお問合せ下さい。

お問い合わせ・お申し込み先

静岡県経済産業部農地局農地保全課

〒420-8601 静岡市葵区追手町9-6

TEL／054-221-2714 FAX／054-221-2809

Email／nouchihozen@pref.shizuoka.lg.jp

メールまたは左記QRコードより専用フォームからお申し込みください。

※お預かりした個人情報は本目的以外には使用いたしません。



サポーターになろう！

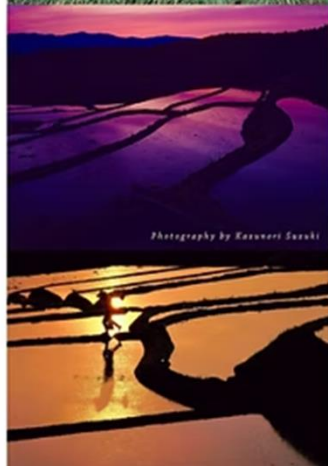
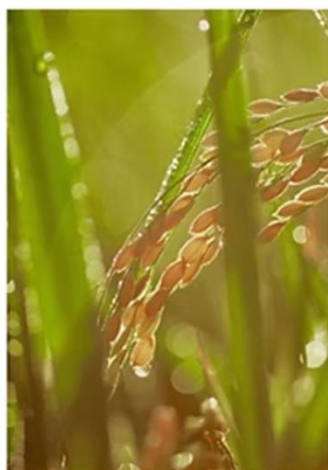
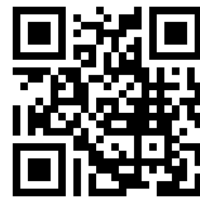
棚田の美しい風景が広がっているのは、「棚田を守っていこう、後世につたえていこう」と思う人達がいるからです。久留女木の棚田では、こうした思いを持つ人を対象に「久留女木の棚田竜宮小僧サポーター」を募集しています。

いろんな事情から、現地には来れないけれど、久留女木の棚田を応援してくださる方に、是非ご参加いただきたい制度です。サポーターになってくださった方には、秋に棚田の恵みが届きます。

■久留女木の棚田 竜宮小僧サポーター

- ▶ 先着50名（グループでも可）
- ▶ 特典1) 棚田米「直虎の里」が届きます(2kg湧き水育ち)
- ▶ 特典2) 会報誌「久留女木竜宮小僧」が届きます(年2回、稲作から伝統芸能の紹介等)

久留女木の棚田
竜宮小僧サポーター募集



久留女木の 棚田 竜宮小僧 サポーター

お申込み

(年会費あり)

稲作と伝統の久留女木の
「生産」「文化」「伝説」

棚田の維持保全のために、あなたの力を！！

お申込みフォームはこちら

先着**50**名様 グループでもお申込みできます

特典1

棚田の恵みをあなたに

棚田米「直虎の里」をお届け
2kg: 竜宮小僧の湧き水で育てたお米です(市場流通なし)

特典2

近況情報を知って、あなたも竜宮小僧に

会報誌「久留女木竜宮小僧」
年2回発行予定: 久留女木の棚田の詳細情報と
会員相互の情報交換のツールとして

お申込みお問い合わせ
申込書は裏面掲載

TEL 090-8869-0398
090-2433-3444

久留女木竜宮小僧の会

URL <https://www.kurumeki.com/>
Facebookページもあります



久留女木（くるめき）の棚田



※1

※2

伝説の息づく里に、集う人々の温かさ。

一から米づくりを学ぼう



久留女木棚田塾でのお米の勉強会や農作業を通じて、おいしいお米づくりを一から学びながら、久留女木の恵みを楽しみます。棚田の耕作や稲作の体験にご興味のある方は、久留女木竜宮小僧の会に相談してみよう。

棚田収穫祭



冬のはじめに開催される、棚田の耕作者、地元の人々、棚田を応援するみんなが一堂に集まる収穫祭。棚田米や久留女木の山の幸が振る舞われ、企画体験も開かれます。夜には星空観察会も。山に囲まれ、街では見ることのない星空の世界が広がります。

りゅうぐうこぞう
竜宮小僧の伝説



久留女木を流れる都田川には、竜宮に通じるといわれる深い淵があり、その淵から子どもが現れて村人の農作業を手伝ったという「竜宮小僧の伝説」が語り継がれています。

久留女木地区の概要

浜松市浜名区引佐町の北東部の浜名湖へ流入する都田川上流部東側に位置しています。標高は250m程度で、60余の世帯からなる集落の東側に、棚田7.7haが広がっています。

棚田の歴史は平安～室町に起源するといわれますが、戦国時代に、井伊家の庇護を得て開墾が進んだと考えられています。

ふる里からのメッセージ

久留女木の棚田は、日当たりの良い山間の斜面に位置し、観音山からこんこんと湧き出る水を利用して、耕作を行っています。



久留女木 竜宮小僧の会
会長 西本有一氏

ほとんどが手作業で行っており、

大変な仕事ですが、先祖からの財産なので、大切に作っています。農業が好きで米づくりを体験してみたい方、一度久留女木の棚田を訪れてみませんか。

棚田Data

場所：浜松市浜名区引佐町
西久留女木、東久留女木
保全国体：久留女木竜宮小僧の会
棚田の枚数：800枚
(面積：7.7ha)
平均標高：248m
栽培作物：水稻、花卉



※1 つなぐ棚田遺産 (つなぐたなだいさん)
棚田地域の保全・活性化に取り組む全国の優良な棚田を、農林水産省が令和4年度に認定しました。全国271 (うち、関東農政局管内は33) の棚田が認定されました。

※2 静岡県棚田等十選 (しずおかけんたなとうじゅっせん)
静岡県が独自に選定した国土保全や農山村景観、歴史的・文化的価値に優れた棚田・茶畑・わさび田10ヶ所です。

久留女木の棚田についてもっと詳しく
知りたい方はQRコードから⇒



大栗安（おおぐりやす）の棚田



標高450m、石積みと土羽の棚田が山々と織り成す美しい景観。

農作業に参加しよう



田植え、稲刈り、草刈などの農作業も体験できます。標高の高い棚田は、晴天には広い青空、雨上がりには幻想的な風景を見ることができます。農作業の募集は、「しずおか棚田・里地くらぶ」で行っています。

秋色の棚田を歩こう



毎年11月下旬に開催される、棚田ウォーキング。ゴールから見下ろす景観が見事です。昼ご飯には棚田米の竹筒ご飯やジビエ料理、午後にはしめ縄づくりなど、毎回工夫が凝らされます。

くんま水車の里



道の駅「くんま水車の里」にある食事処「かあさんの店」。木のぬくもりあふれる店内で、地元のお母さんたちが作ったおそばや定食が好評です。お土産・おやつは物産館「ぶらっと」で。名物くんま沢庵や、五平餅（土日限定）、マロンソフトクリーム（秋限定）もおいしいですよ。

大栗安地区の概要

あかいし
赤石山脈の余波を受けた標高450mの急峻な山間部に位置しています。

棚田を歴史を伝える貴重な文化遺産として保存していくため、平成12年に地元住民で「大栗安棚田倶楽部」を結成しました。この倶楽部が中心となり、都市住民や企業のボランティア、地元の学校などとともに、棚田の保全活動に取り組んでいます。

棚田の歴史は平安～室町に起源するといわれ、少量の水源地と棚田特有の傾斜地という条件ながら、先人の高度な土木技術と努力によって支えられてきました。

ふる里からのメッセージ



大栗安棚田倶楽部代表
鈴木芳治氏

大栗安の棚田は、浜松市の北、天竜区の中に残る小さな棚田です。農家も高齢化し、休耕地も増える傾向にあります。

雨も少なく、猪などの外敵も多く、耕作条件が悪く大変苦労していますが、この原風景を残したく、可能な限り保全できるよう皆で協働しています。

田植え・稲刈りなど機械化が難しい棚田の仕事は人海戦術が一番！！ボランティア大歓迎いたします。

また、夏の草取りや畔の修繕なども協力いただけると大変助かります。

棚田Data

場所：浜松市天竜区大栗安（本村、檜曾礼）
保全体：大栗安棚田倶楽部
棚田の枚数：481枚
（面積：8.6ha）
平均標高：425m
栽培作物：水稻、茶



大栗安の棚田についてもっと詳しく知りたい方はQRコードから⇒

白檀（しらかし）の棚田



「この地で育てたお米を食べたい。」地域愛により蘇った棚田。

保全活動に参加しよう



白檀の棚田では、地域内外から参加者を募り、田植えなどを行っています。

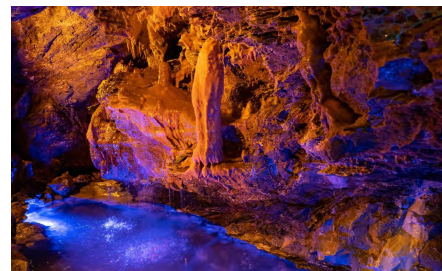
また、平成25年度から「しずおか美農里プロジェクト」※3に取組み、農村環境保全を積極的に行っています。

りゅうがしやま にしよむら ～竜ヶ石山～ 西四村の里



西四村地区は、竜ヶ石山を抱えた恵み豊かな地「～竜ヶ石山～西四村の里」として「ふじのくに美しく品格ある邑」※4に登録されています。

りゅうがしどう 竜ヶ岩洞



西四村地区は、北部には神秘的な鍾乳洞で有名な竜ヶ岩洞があります。

他にも、軽便鉄道の路線跡等があり、歴史を感じさせる景観が見られます。

西四村地区の概要

旧引佐町の中山間地域に位置し、集落東側には神宮寺川が流れ、急傾斜の農地ではみかんの栽培も行われています。

白檀の棚田は1960年代～1990年代に耕作放棄され、約50枚の棚田跡は雑木や雑草が生い茂りジャングルのような状態でした。

平成19年から、地域おこし「里山元気もりもり隊」によって約30枚の棚田が復田され、その後地域内外から参加者を募り、田植えなどを行っています。

ふる里からのメッセージ

白檀の棚田は、集落を包み込む里山の自然環境の保全と活用を図り、自然の恵みを潤いのある里づくりに生かすため『里山元気もりもり隊』が中心となり守っています。

ふるさとの再発見・再認識の機会、潜在的な地域資源の発掘と活用、ふるさとへの愛情と情熱の醸成に、賛同くださる方なら、どなたでもご参加いただけます。

棚田Data

場所：浜松市浜名区引佐町
保全団体：里山元気もりもり隊
棚田の枚数：約30枚
(面積：約2.0ha)
平均標高：201m
栽培作物：水稻



※3 しずおか美農里プロジェクト
静岡県における「多面的機能支払交付金」の受称で、農地や農業用施設の保全、景観の維持などを地域ぐるみで行う取組です。

※4 ふじのくに美しく品格のある邑
地域の自然、景観、伝統文化、農産物などの「地域の宝」を大切に守り、次世代へ継承する活動に主体的に取り組んでいる地域を、ふじのくに美しく品格のある邑づくり連合（静岡県及び県内全35市町で構成）が認定するもの。

白檀の棚田についてもっと詳しく知りたい方はQRコードから→



第31回

全国棚田+千枚田サミット



in はままつ

日程

令和8年 11月14日(土)・15日(日)



浜松棚田サミット
Webサイト

開催地

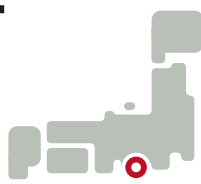
静岡県浜松市

出世大名
家康くん

©浜松市



出世法師
直虎ちゃん



浜松市

おおぐりやす
大栗安の棚田
天竜区大栗安

くろめき
久留女木の棚田

浜名区引佐町
東久留女木・西久留女木

小さな棚田から日本を元気に

「棚田は感動のステージ!つながりが奏でる地域の未来!」

メイン会場 | アクトシティ浜松 中ホール



しらかし
白檀の棚田

浜名区引佐町畑

